

視察研修レポート

委員氏名 平山光生

視 察 先	池田町議会
調 査 事 項	(1) インターネット中継について (2) 通年議会の運用状況について (3) 広報特別委員会（広聴）について
委 員 所 感 (意見・課題・中 標津町への反映 など)	1. インターネット中継について 池田町の議会インターネット中継設備は導入経費 16,060,000 円と高額なだけあり、一般質問の時間表示なども含め、理想的な設備となっていました。 運用面でもカメラの定点登録をすることにより自動で役職や氏名を表示することができ、中継から議事まで議会事務局一人に対応可能というところが、事務局の人数が少ない中標津町にとって魅力的に感じました。 しかし、やはり導入経費が高額なので、必要最小限まで設備を限定させるとどの程度まで経費を抑えられるのかという点や、視聴人数がどの程度得られるのか検証後に再検討の必要があると感じました。 また、池田町は導入に当たり北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用したということで、導入事例や該当機材など調査してみる価値があるのではないかと感じました。 2. 通年議会の運用について 委員会の活性化につながっている実情のみならず、災害時においても議会災害対策会議を設置した場合、被災者の救出・支援に当たるとしている議員活動の公務災害補償等に対応するための、議員派遣手続が速やかに行えるということが、今後の活動に非常に必要になってくるのではないかと感じました。 また、広聴に重きを置いていくのであれば、今までよりも委員会代表質問や政策提言に向けた活動が活発化されていくと予想されるため、必然的に通年議会の体制だけでも整備しておく必要があるのではないかと思います。 3. 広報特別委員会（広聴）について 広報コンクールにて入選の経歴があるが、入選時期には新聞記者等経験のある方が、議員として在籍していた期間であり、現在は大まかな概要は特別委員会で決定するが、一般質問など個人で担当するもの以外は議会事務局の提案によるものということでしたが議事係長の負担が大きく、配置換えになった際の影響が大きいと感じました。 全員で関わっていくことにより、議会の現状を違った視点で見るこ

視察研修レポート

とができることや、議会事務局の負担を増やすことはできないことから、私は全員で広報広聴に関わり、編集も分担しながら作成していく方がいいと思います。

そのためにも、広報の研修会も大切ですが、新聞局が開催している研修会を全員で受講する方が、文章のまとめ方や見出しの作成と今後に生かすことができるのではないかと感じました。

そして、町政懇談会においては毎年3地域で開催しているということですが、その中で出された意見等を内容ごとに分析・仕分し、議会運営に反映や政策提言につなげているだけではなく、次回の町政懇談会で報告することが、参加者の向上につながっているということで、これはすぐにでも実践するべきではないかと感じました。

4. その他

一般質問において、1年後に議員全員で進捗状況について執行側に調査している点について、行政側の刺激にもなるが、議員の知識の底上げにつながることから中標津町議会においても検討していたきと思いました。

視察研修レポート

委員氏名 平 山 光 生

視 察 先	幕別町議会
調 査 事 項	(1) 議会基本条例について (2) 広報広聴委員会について (3) 災害時対応方針について (4) インターネット中継について
委 員 所 感 (意見・課題・中 標津町への反映 など)	1. 議会基本条例について 幕別町議会も議会基本条例の制定まで慎重に協議を進め制定に至っていました。 最終的に条例の制定は必要だと思っていますが、「議会運営に関する確認」の適宜改正を重ね改選後の新体制にも対応した状況で再検討する方が良いと感じました。 2. 広報広聴委員会について 幕別町議会は所管なしの常任委員会となっていたが、広報広聴を合わせても委員会開催回数が少なく、充実発展につながっているようには感じられませんでした。 全員所属の特別委員会として開始し、常任委員会化は再検討事項とする方がいいのではないのでしょうか。 3. 災害時対応方針について 対応方針については会議の設置、その他議員による地域の救済・支援を行うことにより、状況報告を行うことができ、町の対策本部から意見を求められた際には速やかな対応が可能となる点について有効性を感じます。 しかし、池田町議会のように通年議会を導入していないため、公務にならず、個人の状況も判断材料とし、慎重な判断が必要だと感じました。 4. インターネット中継について インターネット設備については比較的低価格に抑えられているように感じますが、カメラ及びマイクのタッチパネル式システムを導入するとなると、どうしても高額になってしまう可能性があり、行政のICT化に合わせ価格や対応機器について調査する必要性を感じました。 やはり、まずは高性能ではなくとも、議会中継・録画再生を行うことでどれぐらいの方が視聴してくださるのか、試行期間を設けるべきであると思います。